

平成 2 8 年 三 重 県 議 会 定 例 会 健 康 福 祉 病 院 常 任 委 員 会

説 明 資 料

	頁
【 所 管 事 項 説 明 】	
1 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成 2 7 年度分）	1
2 平成 2 8 年度の指定管理者による志摩病院の運営について	6

平成 2 8 年 1 0 月 7 日
病 院 事 業 庁

1 指定管理者が行う公の施設の管理状況報告（平成27年度分）

< 県の評価等 >

施設所管部名： 病院事業庁

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立志摩病院(志摩市阿児町鶴方 1257)
指定管理者の名称等	公益社団法人地域医療振興協会 理事長 吉新通康（東京都千代田区平河町 2-6-3）
指定の期間	平成 24 年 4 月 1 日～平成 34 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	・診療等に関する業務 ・利用に係る料金の収受等に関する業務 ・手数料の徴収に関する業務 ・施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務 ・その他志摩病院の管理上必要と認める業務

2 施設設置者としての県の評価

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	H26	H27	H26	H27	
1 管理業務の実施状況	B	B			救急患者の受入態勢の更なる拡充や全病棟の稼働による稼働病床数の増、地域の医療ニーズに対応した地域包括ケア病棟の運用開始など、診療機能の充実が図られている。
2 施設の利用状況	B	B			入院患者数は、前年度とほぼ同水準であったが、外来患者数及び救急患者数は前年度に比べ増加している。
3 成果目標及びその実績	C	C			1日平均外来患者数は目標を達成しているが、他の成果目標については、目標を下回っている。ただし、延外来患者数及び1ヶ月平均救急患者数については、目標を下回っているものの、前年度に比べ増加している。

※「評価の項目」の県の評価： 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	平成24年度の指定管理者制度の導入から4年を経過し、これまで、段階的な診療機能の回復が図られてきたところであるが、平成27年度も総合診療医を中心とした医師や看護師などの確保を行い診療体制の充実を図るとともに、救急受入態勢の拡充や全病棟の稼働、地域包括ケア病棟の運用など診療機能の更なる回復が図られている。特に、内科系の救急受入態勢については、受入時間帯の拡充とともに、平成28年5月からの24時間365日の受入態勢の実現に向けた院内調整を着実に進めた。 一方で、入院患者数が目標数に達しないなど大幅な収益増を図れていないことから、更なる患者数の確保による収益の増につなげる取組を進めていく必要がある。
--------	--

<指定管理者の評価・報告書(平成27年度分)>

指定管理者の名称:公益社団法人地域医療振興協会

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1)管理業務の実施状況

①三重県立志摩病院の管理運営事業の実施に関する業務

- ・平成27年度の病院運営は、前年度に引き続き、業務の効率を図りながら、診療機能の回復及び地域医療への貢献に努めた。
- ・診療体制については、平成27年6月から救急科を院内標榜し担当医師を配置するとともに、同年9月には内科指導医、平成28年1月には総合診療科専修医をそれぞれ1名配置した。これらの結果、常勤医師数は、平成27年4月には26名体制であったところ、平成28年4月には30名体制となり診療体制の充実を図ることができた。
- ・救急患者の受入については、平成27年9月から内科系において金曜日及び土曜日を24時間受入れとし、更に平成28年2月からは、これまでの朝8時30分からの受入れを7時からの受入れに拡充を行った。
- ・入院診療については、休棟していた病棟(1棟)を平成27年11月に再開させ、全病棟稼働とし、一般病棟の稼働病床数を147床から177床に拡大した。また、再開した病棟は、平成28年2月から地域包括ケア病棟(30床)として本格運用を開始した。
- ・看護職員については、17名を採用するとともに、病棟(1棟)の再開に伴って必要となる看護職員を協会内他病院からの支援を受け確保した。また、将来的な看護師確保対策として創設している奨学金貸与制度における平成27年度貸与者は39名であるが、このうち9名を平成28年4月に採用した。(同年4月現在の貸与者は30名)。
- ・薬剤師については、協会内他病院からの支援を受け7名体制で薬剤業務を実施した。また、看護師と同様に薬剤師についても、奨学金貸与制度を設けており、平成27年度の貸与者は5名であり、このうち2名を平成28年4月に採用した。(同年4月現在の貸与者は3名)

②施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

- ・一般病棟の建設が昭和63年、管理検査棟が平成元年、精神病棟が平成3年と、建設から20年以上が経過しており、建物及び施設設備の老朽化が激しく、修繕による対応が多発している。経年劣化による損傷や腐食等が多くあり、今後も緊急対応が必要とされる修繕箇所が多く見られる。平成27年度においては、病院事業庁により浄化槽設備や電話交換機等設備等の改修や更新が行われた。
- ・医療機器においても、計画的に更新等を行っているが(病院事業庁が購入)、経過年数や利用状況から、修理をしなくては利用ができない機器も多くあった。
- ・診療材料や医療消耗品については、管理を一元的に実施するSPDを導入しており、定期的にSPD委員会を開催して導入を決め、使用状況を把握し管理している。こうした中で、後発医薬品についても積極的に使用し、経費削減に努めた。

③県施策への配慮に関する業務

- ・省エネルギーの対策として、こまめな消灯や照明の間引き及び電球の一部LED化などによる節電対策を、前年度に引き続き実施した。
- ・思いやり駐車区画を正面玄関入り口付近と立体駐車場に設け、啓発を行った。

④情報公開・個人情報保護に関する業務

- ・整備した規程に基づき、個人情報管理責任者を配置して、適切な管理を行った。

⑤その他の業務

- ・地域連携センターでは、地域の医師会、福祉施設、関係団体と顔の見える関係を築くとともに、地域の医療連携の中核病院として役割を担うべく、専門職を対象とした研修会を実施した。
- ・一般病棟においては、社会福祉士と看護師による複数での支援体制を継続し、支援困難なケースに対しては、毎回、地域連携センター内でカンファレンスを重ねて対応した。
- ・平成26年4月に発足された、地域住民の方々によるボランティア組織「うさぎの会」により、院内の案内、声掛け、車椅子の手伝いなど、来院者の支援が継続して行われている。
- ・昨年度の外来会計部門に引き続き、病棟勤務の事務職員についても、業務委託から病院による直営化(臨時職員を配置)とすることで、経費削減を図った。

(2) 施設の利用状況		
	目標	実績
1日平均入院患者数	239.0人	204.1人
1日平均外来患者数	314.6人	317.6人
1か月平均救急患者数	600.0人	457.1人

2 利用料金の収入の実績

	目標	実績
入院収益	2,457,107千円	2,124,670千円
外来収益	1,089,494千円	871,291千円
その他医業収益	71,068千円	47,557千円

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	H26	H27		H26	H27
指定管理料	474,816,000	481,948,000	事業費	3,945,629,762	3,893,909,892
利用料金収入	3,011,175,706	3,043,518,823	管理費	60,665,000	61,313,000
その他の収入	492,496,124	280,392,141	その他の支出	8,409,736	7,633,559
合計 (a)	3,978,487,830	3,805,858,964	合計 (b)	4,014,704,498	3,962,856,451
収支差額 (a) - (b)	△36,216,668	△156,997,487			

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

4 成果目標とその実績

成果目標	1日平均入院患者数	239.0人/日	
	1日平均外来患者数	314.6人/日	
	延外来患者数	92,807人	
	1か月平均救急患者数	600.0人/月	
	経常収支比率	100.0%	
	利用者満足度	85.0%	
成果目標に対する実績	1日平均入院患者数	204.1人/日	(H26実績: 205.7人/日)
	1日平均外来患者数	317.6人/日	(H26実績: 307.9人/日)
	延外来患者数	77,188人	(H26実績: 75,127人)
	1か月平均救急患者数	457.1人/月	(H26実績: 420.4人/月)
	経常収支比率	96.0%	(H26実績: 99.1%)
	利用者満足度	76.3%	(H26実績: 79.6%)
今後の取組方針	志摩地域における中核病院として、地域住民に良質で安心できる医療サービスが提供できるよう診療体制の回復に努めるとともに、新たな医療ニーズに対応していく。 また、平成28年5月から実施している24時間365日の内科系の救急患者の受入について、今後も継続していく。 総合診療医及び救急医による幅広い疾患の受入と、専門医との連携により医療の充実を図っていく。さらに、平成28年2月に運用を開始した地域包括ケア病棟を増床し、診療機能の充実と収支改善を図っていく。		

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	H26	H27	
1 管理業務の実施状況	B	B	総合診療医を中心とした医師や看護師などの確保により診療体制の充実を図るとともに、内科系の救急患者の受入れの拡充や一般病棟の再稼働など診療機能の回復を図った。
2 施設の利用状況	B	B	入院診療機能及び救急診療機能の段階的な回復を図り、患者数の確保に努めた。 また、再開した病棟(1棟)を地域の医療ニーズに対応した地域包括ケア病棟としての運用により、入院患者数の安定的な確保に取り組んだ。
3 成果目標及びその実績	C	C	1日平均外来患者数は目標を達成した。 1日平均入院患者数については、内科系救急患者の受入れの拡充や地域包括ケア病棟の運用などにより、患者数の確保に取り組んだが、病棟(1棟)の再開のための改修工事に伴う入院調整を行ったことなどにより、目標達成はできなかった。 経常収支比率についても、入院患者数の確保による入院収益の増額を図ることができなかったことなどから、目標達成はできなかった。

※評価の項目「1」の評価： 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」、「3」の評価： 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	平成27年度は指定管理者制度への移行後4年目であり、更なる診療機能の回復に努めた。特に、入院診療機能については、地域医療構想の検討が進められている中、伊勢志摩地域で一層の充実が求められている回復期の機能を有する地域包括ケア病棟の運用を開始することにより、急性期の治療を経過後の医療ニーズに対応した。 また、救急科を院内標榜し、救急医の増員などを図りながら、内科系救急患者の受入時間帯の拡充により利便性を高めるとともに、ドクターヘリとの連携による重症患者の受入れを行った。 さらに、小児医療の体制については、前年度に引き続いて常勤医師による週5日の外来診療を行う中で、慢性期疾患や急性疾患の患者受入にも対応した。さらに診療だけではなく、育児支援相談、予防接種、乳児健診など保健予防活動も積極的に行い、地域の小児医療に対する幅広い取組を進めてきた。 収支状況については、患者数の確保による収益増だけでなく、委託費や薬剤費など費用の削減も行い、経営の健全化に取り組んできた。 施設・設備の老朽化等の対応や高額な医療機器の更新については、県と連携を密にし、計画的に進めてきた。
--------	---

【参考】

志摩病院の管理業務に関する経費の収支状況の内訳

(単位:円)

項 目	H26 決算額	H27 決算額	増減(H27－H26)
収入の部			
① 指定管理料	474,816,000	481,948,000	7,132,000
政策的医療交付金	474,816,000	481,948,000	7,132,000
② 利用料金収入	3,011,175,706	3,043,518,823	32,343,117
入院診療収益	2,126,551,564	2,124,670,125	△ 1,881,439
外来診療収益	839,746,616	871,291,409	31,544,793
室料差額収益	28,163,160	30,010,080	1,846,920
保健予防活動収益	16,714,366	17,547,209	832,843
③ その他の収入	492,496,124	280,392,141	△ 212,103,983
利用料金以外の事業収益	22,122,533	22,162,722	40,189
交付金・補助金・委託収益	425,300,179	218,326,843	△ 206,973,336
うち経営基盤強化交付金	382,408,000	184,137,000	△ 198,271,000
その他の事業外収益	45,073,412	39,902,576	△ 5,170,836
④ 収 益 計 (①+②+③)	3,978,487,830	3,805,858,964	△ 172,628,866
支出の部			
⑤ 事業費	3,945,629,762	3,893,909,892	△ 51,719,870
材料費	647,481,066	634,974,123	△ 12,506,943
給与費	2,161,313,866	2,149,755,079	△ 11,558,787
委託費	441,427,444	424,525,244	△ 16,902,200
設備関係費	454,153,778	445,692,210	△ 8,461,568
うち管理受託等負担金	240,246,720	244,852,563	4,605,843
研究研修費	10,792,124	12,547,910	1,755,786
経費	230,461,484	226,415,326	△ 4,046,158
⑥ 管理費	60,665,000	61,313,000	648,000
管理費	60,665,000	61,313,000	648,000
⑦ その他の支出	8,409,736	7,633,559	△ 776,177
事業外費用	8,409,736	7,633,559	△ 776,177
⑧ 費 用 計 (⑤+⑥+⑦)	4,014,704,498	3,962,856,451	△ 51,848,047
収 支 差 額 (④－⑧)	△ 36,216,668	△ 156,997,487	△ 120,780,819
経営基盤強化交付金を除いた収支差額	△ 418,624,668	△ 341,134,487	77,490,181

2 平成28年度の指定管理者による志摩病院の運営について

平成24年4月に指定管理者制度を導入した志摩病院については、指定管理者（公益社団法人 地域医療振興協会）において、診療体制の段階的な回復を図りつつ、順調に運営を行っているところです。

1 診療科別の常勤医師の配置等

平成28年4月の常勤医師の配置については、内科及び救急・総合診療科等の医師の増員により30名体制となりました。

引き続き、常勤医師の充実に努め、診療機能の一層の向上が図れるよう取り組んでいきます。

	県直営	指定管理					(単位：人)
診療科等	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	
内科及び救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	
外科	3	4	3	3	3	3	
整形外科	3	2	2	2	2	2	
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	
眼科	1	1	1	1	1	1	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	
小児科	0	0	1	1	1	1	
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	
精神科	3	3	3	3	2	2	
放射線科	1	1	1	1	1	1	
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	
初期研修医	1	2	2	2	3	4	
計	21	24	26	32	26	30	

2 診療体制等

入院診療については、平成28年2月から本格運用を開始した地域包括ケア病棟（30床）により、地域において一層の充実が求められる回復期機能を担い、リハビリなど在宅復帰に向けた多様なニーズに対応する医療サービスを安定的に提供しています。

さらに、平成28年10月からは、志摩病院の回復期機能における役割を拡充するとともに、病床稼働率の向上を図るため、内科病棟2棟のうち1棟（35床）を地域包括ケア病棟（42床）として運用します。これにより、一般病床の稼働病床数は177床から184床に増床となります。

3 患者数及び医業収益

平成28年7月までの患者数及び医業収益は、本年度の計画数を下回っているものの、一般病床の1日平均入院患者数は、地域包括ケア病棟の運用などにより前年度と比較して大幅に増加するとともに、それに伴って入院収益についても増加している状況にあります。

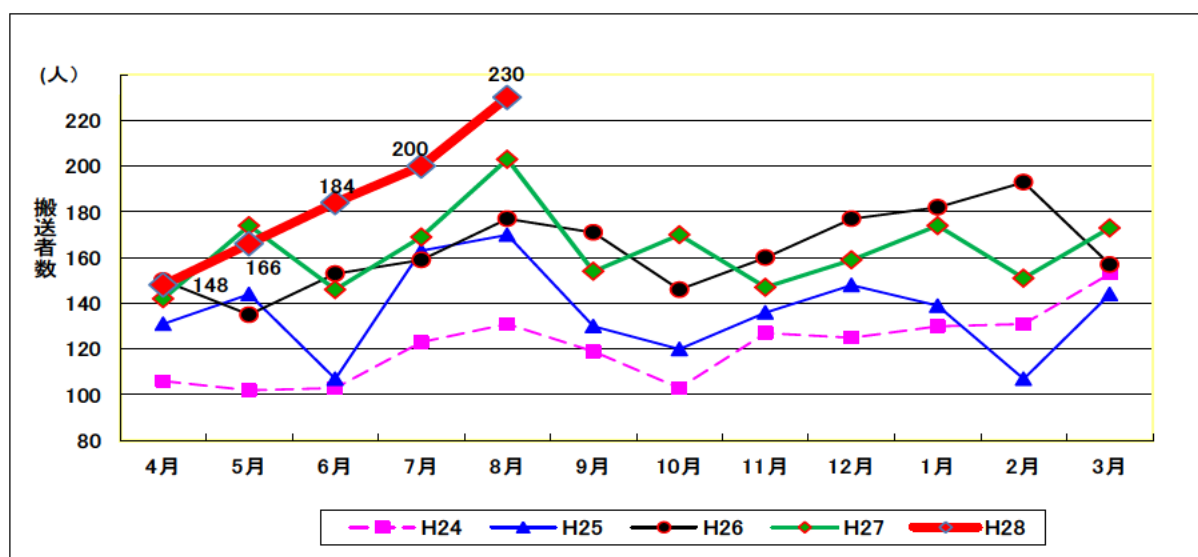
引き続き、診療体制のさらなる充実等により患者数の増加につなげ、経常収支の改善を図っていきます。

			H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28	
							計画	4～8月実績
1日平均患者数 (人/日)	入院	一般	113.5	114.6	116.3	115.8	155.0	128.4
		精神	93.4	91.3	89.4	88.3	90.0	89.9
	外来	一般	247.1	264.8	270.3	280.3	293.8	279.1
		精神	36.7	37.2	37.6	37.3	36.5	38.0
診療単価 (円)	入院	一般	35,810	38,130	39,783	40,074	38,939	40,605
		精神	13,490	13,485	13,736	13,642	13,698	13,681
	外来	一般	12,110	12,061	11,956	12,013	12,037	11,970
		精神	6,701	7,086	6,677	6,678	6,569	6,685
医業収益 (千円/月)	入院 (月平均)		161,968	170,402	178,068	178,290	221,081	197,114
	外来 (月平均)		66,112	70,291	70,813	73,239	76,468	74,043

4 救急診療

救急診療については、内科系の救急受入態勢において、これまで段階的に受入時間帯の拡充を図ってきたところですが、平成28年5月9日からは、24時間365日の受入れを開始しています。これにより、志摩病院への救急搬送者数（志摩広域消防組合による搬送）は、増加している状況です。

【志摩広域消防組合からの搬送者数】



	H24	H25	H26	H27	H28
4月～8月救急搬送者数	565	715	774	834	928
前 年 度 比		126.5%	108.3%	107.8%	111.3%
(参考)年間の救急搬送者受入数	1,453	1,639	1,960	1,962	-

なお、現在の救急患者の受入態勢は、下表のとおりです。

(△は隔週で対応)

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
内科系	昼 間 (8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00～22:30)	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜 (22:30～ 8:30)	○	○	○	○	○	○	○
外科系	昼 間 (8:30～17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00～22:30)	○			○	○	△	
	深 夜 (22:30～ 8:30)					△	△	